

自己評価表(令和3年度)

愛媛県立東温高等学校

学 校 番 号 2 6

教育方針	1 学科の特質と生徒の実態に即した特色のある教育を、地域との連携を保ちながら展開する。 2 自ら学び、自ら考える力を育て、一人一人に「確かな学び」を獲得させる教育を実践する。 3 公共の学びや体験活動に努め、広い視野を持って時代を拓く人間性、社会性の育成を図る。	重点目標	生きる力をはぐくみ、共に学び高めあう教育の推進 —社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指して—
------	---	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
学校全般	学校生活への支援	誰一人取り残されることなく、全ての生徒が学校生活を楽しく有意義に感じられるよう、あらゆる教育活動で支援に努める。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、教育活動に制限がかかる中、実施されるすべての活動において、全ての生徒が有意義に行動できるよう、全教職員で取り組むことができた。	生徒一人一人の特性や意欲に応え、有意義な活動を行い、楽しく学校生活を送るための新たな取り組みを行う必要があり、全教職員で検討していくことが大切である。
	教育課程の編成	令和3年度新入生のクラス減に対応した教育課程の編成と昨年度検討した新教育課程の編成について、生徒の多様な進路希望に応じたものとしてできるよう、より効果的な内容を目指す。	B	進路の選択において多様な方向性を目指す本校生徒に対して現存の教育課程から考慮して生徒と学校にとって最も適切な選択をできる環境をとれた。新教育課程についても検討を続け、最も適切な形とすることができた。	次年度の一年生より検討してきた新教育課程となり、新たに観点別評価について、様々な問題が発生する可能性がある。1年生の指導について十分に検証し、最善の形を構築する必要がある。
学習指導	教科指導の充実	授業を最重視した学習習慣を確立させるとともに、全ての生徒に「わかる授業・興味を持たせる授業」を推進する。	A	ICT環境の整備により、より興味を持たせるための教材作成、オンラインでの授業の実施や解説動画の撮影及び配信など概ね実施することができた。	ICTを活用した授業展開について、他校の実施方法など、研究してさらに改善していくことが可能であると考えている。他校での研修など推進していきたい。
		家庭学習時間の確保や授業改善を目的として共通実践月間目標を設定し、授業と家庭学習を相互に生かした取り組みを図る。	B	校内で統一した月間目標を設定することにより、生徒たちが同じ方向を向いて相互に家庭学習に取り組むきっかけとすることができた。	月間目標については、その時代・生徒に合わせた目標を検討していくことが重要である。授業評価や教職員の評価などを参考に適宜検討していかなくてはならない。
進路指導	進学指導の充実	基礎学力を定着させるとともに、各類型・コースの特性を生かし、自己の在り方や生き方を考えた高い目標を設定させ、自己実現に向けて粘り強く挑戦させる。	B	人文・理数・英語理解類型在籍の81名(78%)の生徒が大学入学共通テストを受け、学力のさらなる高みを目指した。その他の類型・商業科では、12月末時点で、進学希望者の96%が進学先を決定している。	生徒に高い目標を持たせ、自律した進路選択がなされるように、担任・学年団と連携を取り、各類型・コースに合った質の高い指導を行っていく。
	就職指導の充実	就職に必要な学力や人間性を養わせ、インターンシップや企業見学などへの積極的な参加を通して正しい職業観を身に付けさせるとともに、地域や社会に貢献できる人材を育成する。	B	企業見学を奨励し、早い段階から履歴書の作成や面接指導を充実させることができた。しかしながら、12月時点においても就職未決定者がわずかながらいた。	確かな職業観を持たせ、望ましい生活習慣の育成と学力の向上につなげる。また、生徒への情報提供を迅速に行い、主体的・積極的な就職活動をサポートする。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	心のこもった挨拶の励行、端正な身だしなみの徹底、SNS利用時のモラルの遵守、交通安全教育の推進について、継続的に粘り強く指導を行う。	B	大半の生徒は基本的な生活習慣が身に付いてきており、落ち着いた学校生活を送ることができた。ただ、交通マナーの徹底には課題が残る。	日々の声かけと生徒への指導方法を工夫し、教員の共通理解・共通実践のもと、基本的な生活習慣の確立、交通ルール遵守の徹底に努める。
	生徒理解への取組	定期的に個人面談を実施し、生徒理解に努め、学年等での共通理解を図る。また、欠席が気になる生徒にはその都度、臨時家庭訪問を実施し、家庭との連絡を密にする。	A	担任と学年主任が中心となってきめ細かな指導を継続することができた。また、マチコミ、チームス等によって、家庭、生徒との連絡が密にできた。	関係する教職員が一人または一部で問題を抱え込まないよう、学年団や各課との連絡・情報交換を密にしていく。
特別活動	学校行事の充実	新型コロナウイルス感染症対策を施した実施方法を具現化していくとともに、生徒会執行部を軸とし、生徒自らが主体的に参画できる学校行事の方法を確立していく。	B	行事ごとに生徒会執行部と話し合いを持ち、教師と生徒が共に知恵を出し、連携を取りながら感染症対策を工夫した学校行事を実施することができた。生徒が主体的・意欲的に動ける場面が増えたように思われる。	コロナ禍を好機と捉え、生徒全体に広げていくことが大きな課題である。企画段階から生徒が参加する機会をさらに増やし、学校行事を活性化していくとともにリーダーシップとフォローシップを身に付けさせたい。
	部活動の充実	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施可能な在り方を工夫していく。生徒自らが主体的に活動できる機会を増やすとともに、高い目標を目指し人格の形成を目指していく。	B	コロナ禍の中、大会の中止や縮小、練習での制限など制約が多かったが、各部ともに工夫した活発な活動ができた。戦績についても概ね目標が達成できていた。	更に、高みを目指すために挨拶などの基本的なことを徹底し、人格の形成を目指したい。指導教員の意識を高めることにも取り組みたい。また、部の精選にも具体的に着手し、活性化に繋げたい。コロナ禍だからできることを探し、活性化に努めたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
人権教育	人権・同和教育の充実	人権・同和教育を推進して人権尊重の心を育み、同和教育問題をはじめとする様々な人権問題の解決を図っていくための実践力も養わせる。	B	コロナ禍で思うような活動ができない中ではあったが、人権・同和教育ホームルーム活動をはじめとして、「人権を考える日」の実施や人権標語・ポスターの作成を通じて、人権尊重の意識が向上し、差別を許さない実践へと踏み出す意欲が高まった。	コロナによる差別を防ぐ努力を継続しつつ、人権・同和教育ホームルーム活動などにおいて、差別を許さない実践力をさらにどう高めていくかを来年度の課題として取り組んでいきたい。
道徳教育	道徳教育の充実	自律した個人として、また、社会の形成者として、必要な道徳的価値観を身に付け、有意義な人生を送れるように生徒の育成を図っていく。	B	社会のルールやマナーを守ろうという生徒の意識は向上してきている。ただし、対人コミュニケーションにおいて、言葉遣いをもう少し改善すればよいと思われる場面もあった。	これまでの取組の成果を生かし、生徒の自尊感情を高めるとともに、相手のことを考慮した言動が十分できるように、道徳的実践力の育成を目指す。
安全教育	安全教育の充実	安全に関する意識や知識を高め、事件・事故を未然に防止する能力を身に付けさせるとともに、万一の際の対応能力を高め、学校や地域社会に貢献できる実践力を養わせる。	B	交通安全については、重大事故の発生がなく、自転車乗車中のヘルメット未着用指導者も減少したが、交通マナーの遵守(並進をしない等)が今一步であった。自然災害への対応は、地震時の身を守る行動・避難、大雨時の警戒レベルの認知等、かなり進んだ。	自分の命は自分で守る意識をしっかりと持たせる。また、地域の安全や安心に貢献できる態度を育成し、さらなる安全教育の充実に努める。
業務改善	適切な勤務時間	教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。	B	会議の精選を行い、教職員の多忙感の解消や時間の有効活用に努めた。教職員の中には、熱心に教材研究や教科指導を行い、勤務時間外におよぶ勤務も見られる。また、テレワークを利用する教職員も増え、定着しつつある。	ノー残業デーが毎月1日設けられているが、名前だけである。その日は部活動を停止するなどして、心身をリフレッシュする時間を確保したい。また、書面会議の実施により、時間の有効活用を図っていく。
	職場環境の整備	毎月、衛生委員会を実施して、環境改善と教職員の健康増進に努める。また、健康講座や健康相談を定期的に実施することで、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。	A	毎月の衛生委員会において気になる教職員の心身の状況について情報共有し、声かけを行っている。また、管理医が健康診断結果を確認して抽出した人と希望者に、管理医による個別健康相談を行った。	職場環境の改善に向けて、教職員から要望を募っているが、アンケートを実施して更に充実させたい。

※ 評価は5段階 (A: 十分な成果があった B: かなりの成果があった C: 一応の成果があった D: あまり成果がなかった E: 成果がなかった) とする。